



Your dreams. Woven together.

2011年6月期 第3四半期決算説明

2011年5月13日

(証券コード:7747 東証二部、名証二部、ジャスダック)



目 次

1 . 2011年6月期(3Q累計)決算の概要

2 . 2011年6月期(通期)業績見通し

ご参考:会社概要・事業の特徴



1 . 2011年6月期(3Q累計)決算の概要

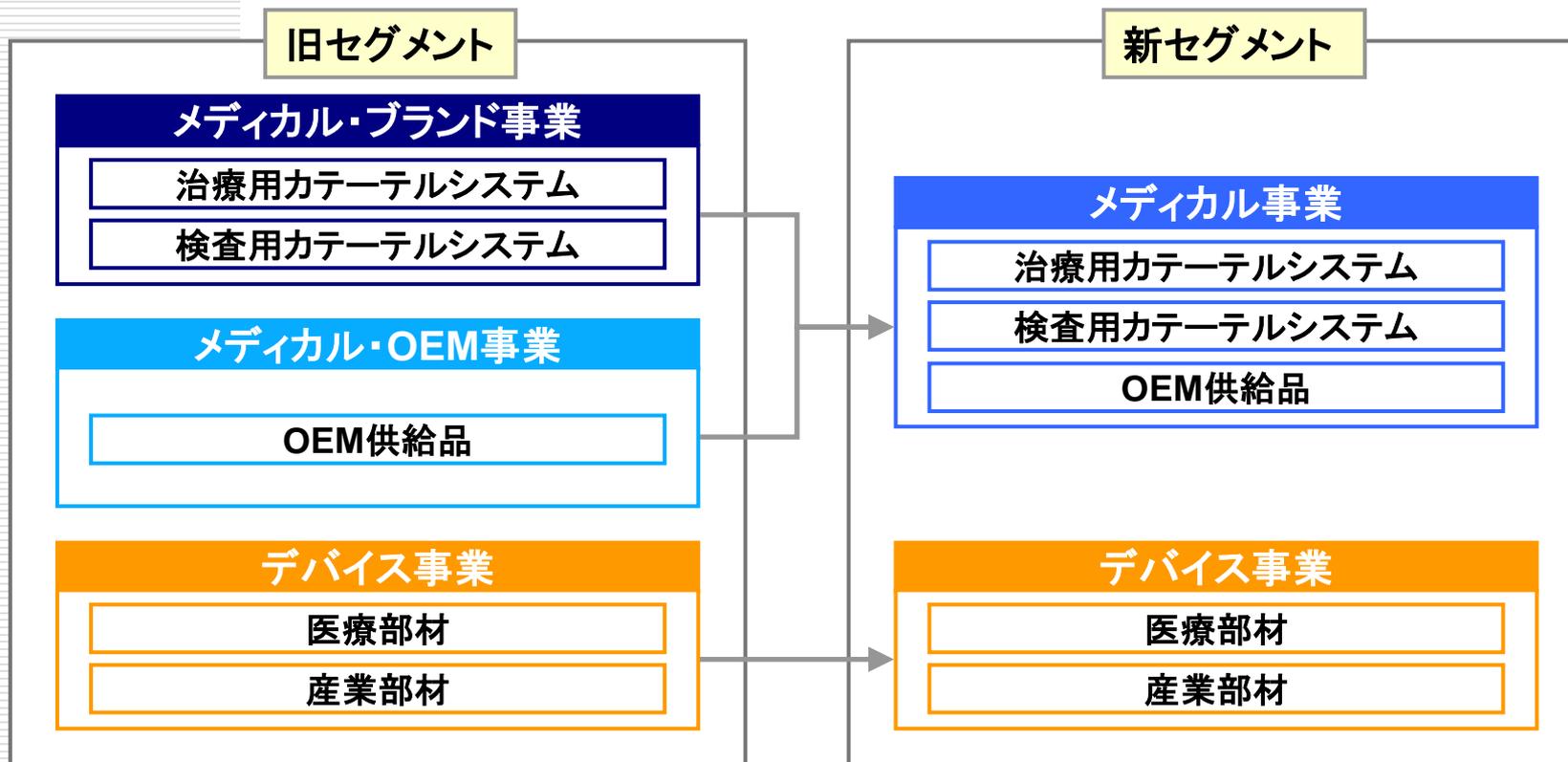
2 . 2011年6月期(通期)業績見通し

ご参考:会社概要・事業の特徴



事業セグメントの変更について-1

- 組織形態の変更等に伴い、2011年6月期より下記のセグメント区分に変更致しております。



- 以下資料上における留意事項
 - セグメント別の前年同期比較にあたっては、前期数値を変更後の区分に組み替え表記しております。

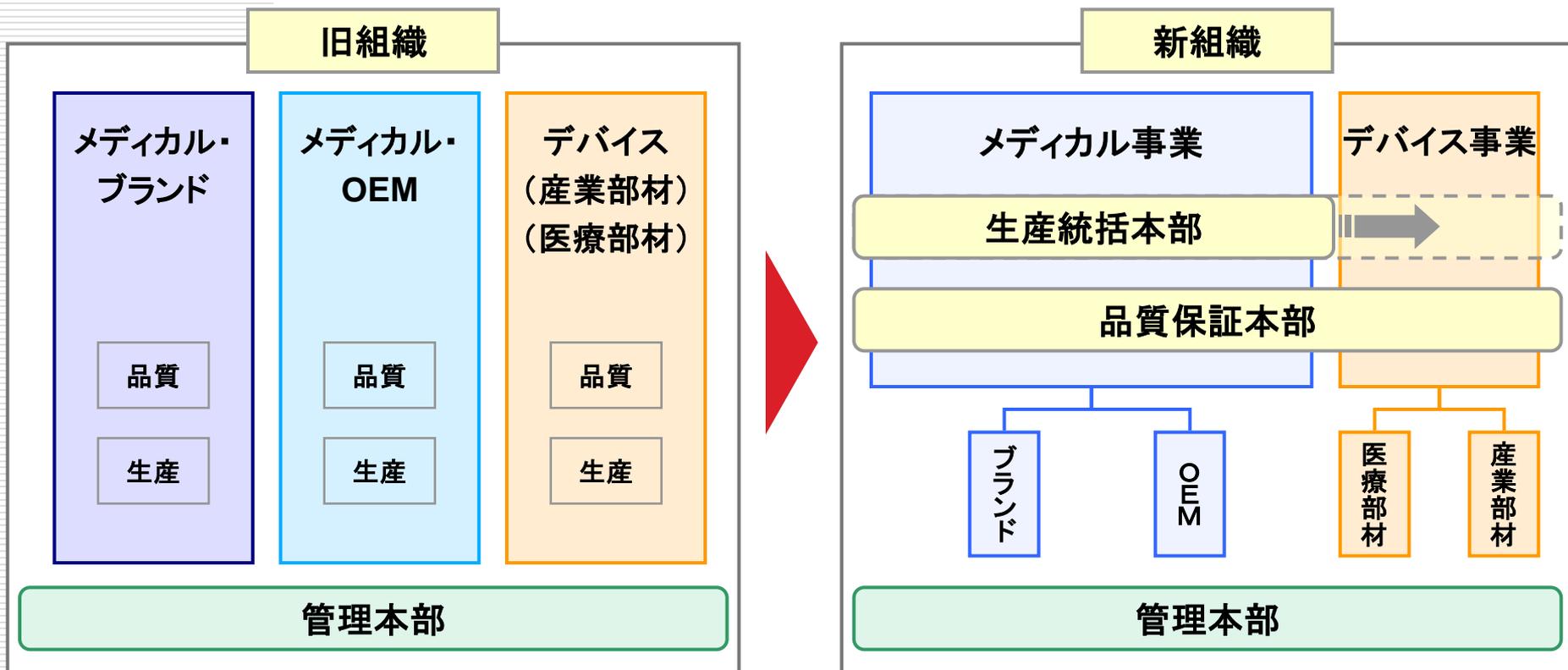


事業セグメントの変更について-2

(要因: マトリックス組織形態への移行)

■ 組織変更の内容と目的

- 横断的組織として、「生産統括本部」及び「品質保証本部」を設立
- マトリックス組織への移行をはかることにより、開発・生産・品質・販売の役割を明確化し、製品開発のスピードの向上、生産性の向上を目指す





2011年6月期(3Q累計)決算のポイント(連結)

■ 売上高は12,039百万円(前年同期比+4.9%)と堅調に推移

□ 増収分野: 医療機器分野 減収分野: 産業機器分野

- ▶ 医療機器分野は、主に自社ブランド製品が国内好調に推移するも、海外は為替の影響を受け減少
- ▶ 数量の増加により、円高ドル安の為替影響(△410百万円)や、医療償還価格下落に伴う国内売価下落によるマイナス影響(△506百万円)をカバー

■ 円高ドル安影響・償還価格下落などの逆風あるも営業利益は増収を確保

□ 営業利益は2,859百万円(前年同期比 +9.6%)

- ▶ 研究開発費用(1,286百万円)の増加(前期比費用増加+405百万円、売上高比率10.7%)
- ▶ 朝日インテック・ジーマ連結子会社化(2010年1月～)により販管費が増加(同+111百万円)(研究開発費除く増加 同+59百万円)
- ▶ 円高為替についてタイパーツに比べてドルの動きが強く営業利益にマイナス影響あり(前期比営業利益△348百万円)
- ▶ (参考:組織変更に伴う売上原価から販管費への費用区分変更による影響額は約525百万円)

□ 経常利益は2,828百万円(前年同期比+11.5%)

- ▶ 営業外費用に円高の影響による為替差損62百万円を計上(前期比△6百万円)

□ 四半期純利益は1,883百万円(前年同期比+12.0%)

- ▶ 特別損失:資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 30百万円、投資有価証券評価損260百万円を計上
- ▶ 前期は特別損失に前期損益修正損(在庫関係)76百万円を計上



決算ハイライト(連結)

	2010年6月期 3Q累計実績		2011年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前年同期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	11,473	100.0	12,039	100.0	+565	+4.9
売上総利益	6,534	57.0	* 8,109	67.4	* +1,574	+24.1
営業利益	2,607	22.7	2,859	23.8	+251	+9.6
経常利益	2,535	22.1	2,828	23.5	+292	+11.5
(四半期) 純利益	1,680	14.7	1,883	15.6	+202	+12.0
EPS	106.03円	-	118.78円	-	-	-

* 当期から、組織変更に伴い、売上原価から販管費への費用区分変更を行っております。今期3Q累計に与える影響は約525百万円となります。当初、通期にて約800百万円の影響を見込んでおりましたが、その影響額は約700百万円となる予定です。

* 変更前 売上総利益	6,534	57.0	7,583	63.0	+1,048	+16.0
----------------	-------	------	-------	------	--------	-------



セグメント別売上高

	2010年6月期 3Q累計実績		2011年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	9,303	81.1	9,633	80.0	+329	+3.5
デバイス事業	2,169	18.9	2,405	20.0	+236	+10.9
合計	11,473	100.0	12,039	100.0	+565	+4.9

(参考)

医療機器分野	10,080	87.9	10,727	89.1	+647	+6.4
産業機器分野	1,392	12.1	1,311	10.9	△81	△5.9



セグメント別営業利益

	2010年6月期 3Q累計実績		2011年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	3,157	87.3	3,024	78.0	△133	*1 △4.2
デバイス事業	458	12.7	852	22.0	+394	+86.0
計	3,616	100.0	3,877	100.0	+260	+7.2
消去・全社	△1,008	-	△1,017	-	△9	+0.9
合計	2,607	-	2,859	-	+251	+9.6

*1: 当社グループでは、メディカル事業の一部の製品に対する部材供給(下請)をデバイス事業が行っており、よってメディカル事業の外部売上高に対応する利益の一部は、デバイス事業に計上されることとなります。

メディカル事業の営業利益は前年同期比にて減少と表示されておりますが、デバイス事業に計上されている当該利益は前年同期に比べて増加傾向(約+200百万円)にあり、よってその影響を考慮すると、営業利益においても増益となっております。



セグメント別営業利益(一部調整後)

	2010年6月期 3Q累計実績 *1		2011年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)
メディカル事業	3,085	87.3	3,024	78.0	△60	*2 △2.0
デバイス事業	450	12.7	852	22.0	+402	+89.4
計	3,535	100.0	3,877	100.0	+341	+9.7
消去・全社	△927	-	△1,017	-	△90	+9.8
合計	2,607	-	2,859	-	+251	+9.6

*1: 全社的な研究開発を行なう基盤技術グループの費用について、10/6期までは全社セグメントに計上されておりましたが、11/6期より各セグメント区分に変更しており、よって10/6期実績について11/6期基準に変更して表記しております。

*2: 当社グループでは、メディカル事業の一部の製品に対する部材供給(下請)をデバイス事業が行っており、よってメディカル事業の外部売上高に対応する利益の一部は、デバイス事業に計上されることになります。

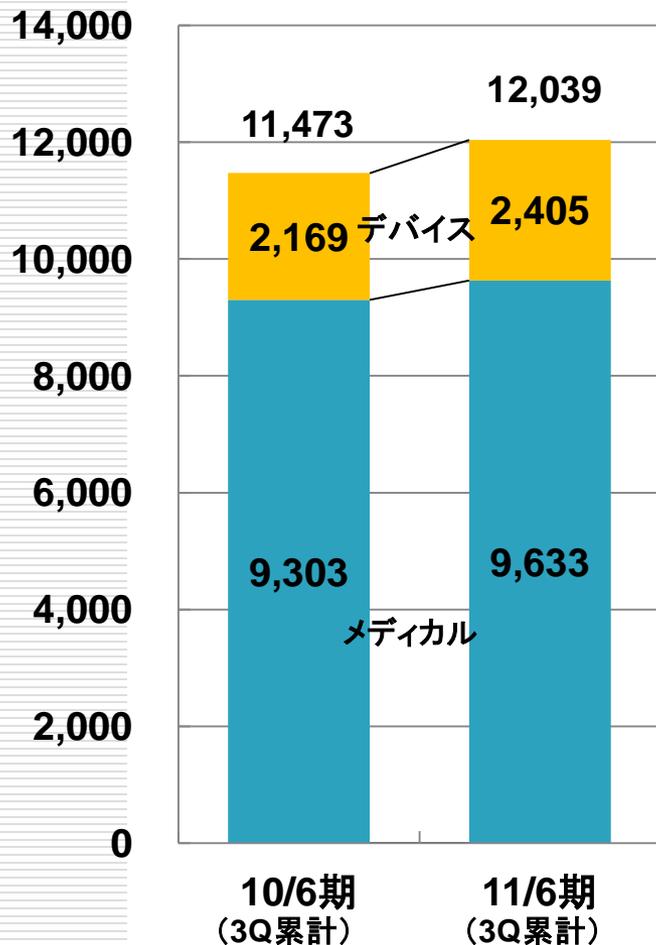
メディカル事業の営業利益は前年同期比にて減少と表示されておりますが、デバイス事業に計上されている当該利益は前年同期に比べて増加傾向(約+200百万円)にあり、よってその影響を考慮すると、営業利益においても増益となっております。



セグメント別の収益状況(一部調整後)

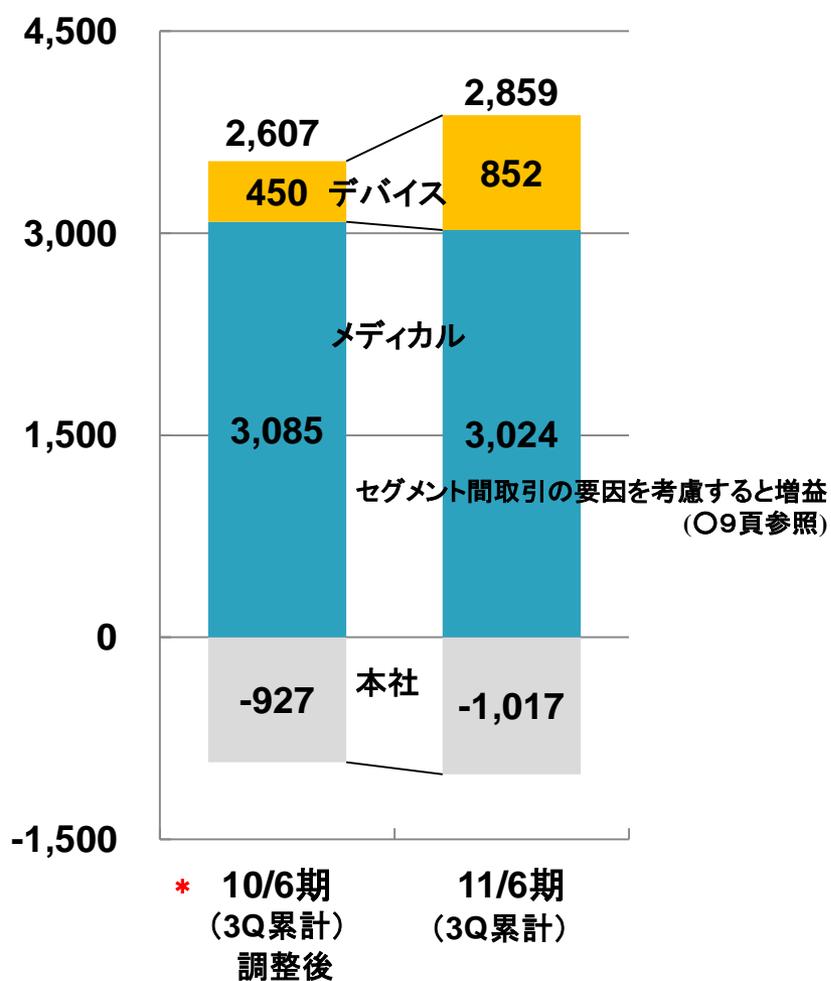
(百万円)

【売上高】



(百万円)

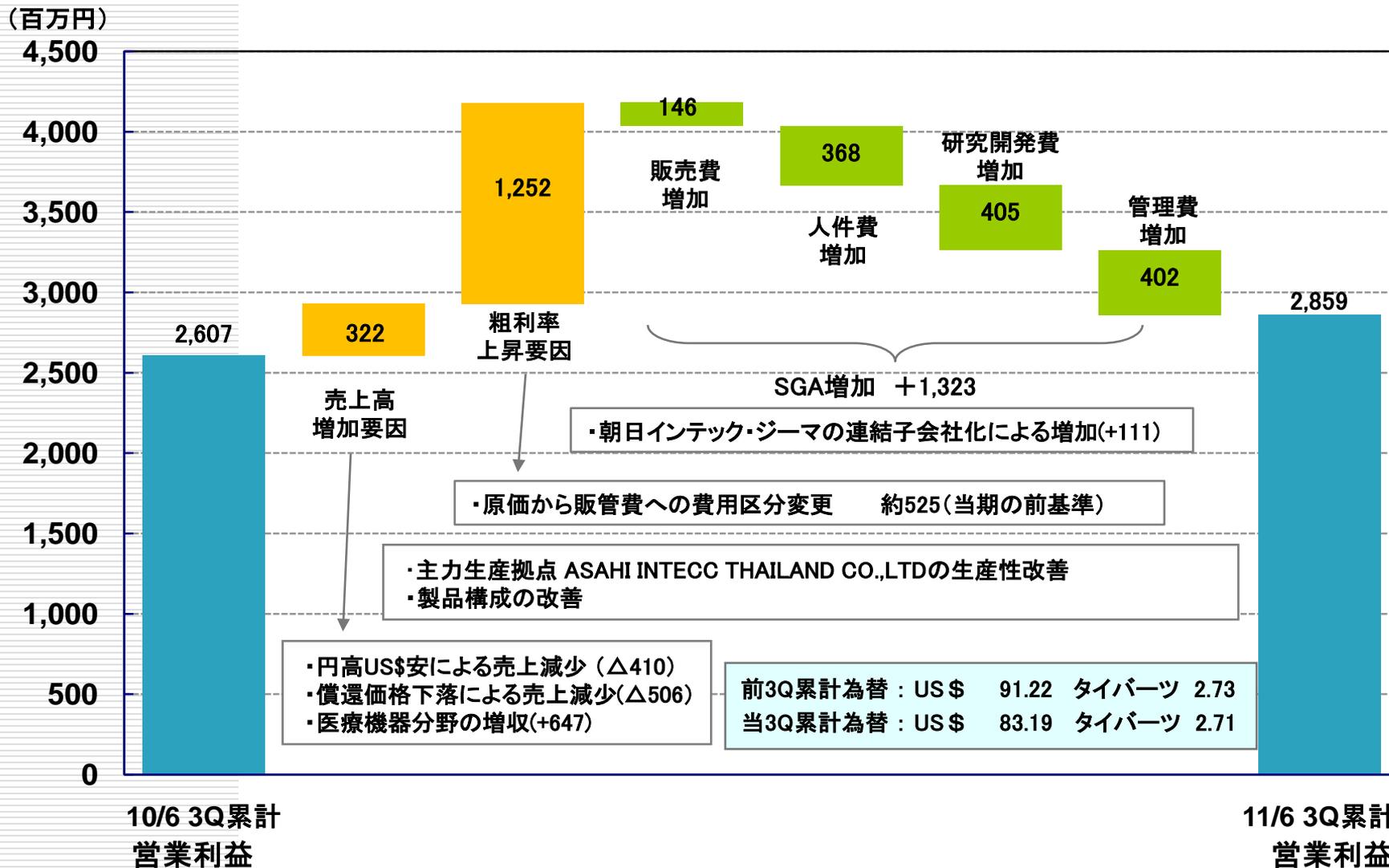
【営業利益】



* : 全社的な研究開発を行なう基盤技術グループの費用について、10/6期までは全社セグメントに計上されておりましたが、11/6期より各セグメント区分に変更しており、よって10/6期実績について11/6期基準に変更して表記しております。

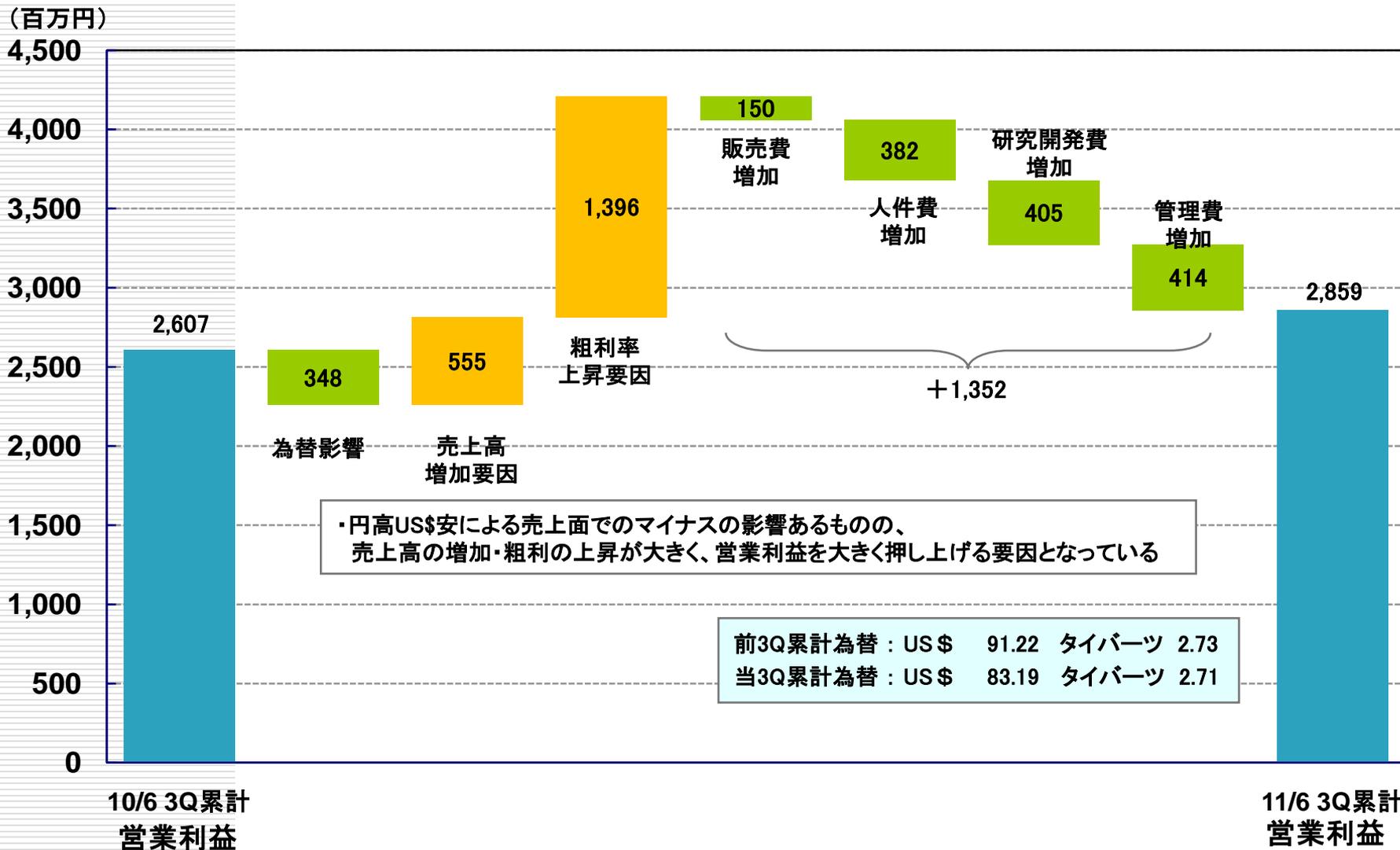


営業利益増減要因分析-1 (為替の影響を含む)





営業利益増減要因分析-2(為替の影響を除く)





メディカル事業の状況



- 国内は順調に推移、海外は為替の影響を受け減少
 - 売上高9,633百万円(前年同期比+329百万円、同+3.5%)
 - 営業利益3,024百万円(調整後前年同期比△60百万円、同△2.0%)
 - 円高ドル安の影響(△325百万円)及び償還価格下落の影響(△506百万円)を受けるも好調に推移

- 治療用カテーテル製品
 - 8,053百万円(前年同期比+377百万円、同+4.9%)
 - PTCAガイドワイヤーは国内増加、海外は為替影響で減少
 - 国内:循環器系を中心に幅広い患部領域の製品が好調
 - ▶ 償還価格のマイナス影響を払拭し売上好調
 - ▶ 貫通カテーテルCorsairは前下半期から販売開始により好調に推移
 - ▶ 末梢血管系・脳血管系など循環器系以外の領域好調に推移
 - 海外:円高ドル安の影響あるも、販売数量でカバー
 - ▶ 中国向けは為替影響を払拭し売上好調
 - ▶ 貫通カテーテルCorsairは米国を中心に販売好調

- 検査用カテーテル製品
 - 234百万円(前年同期比△99百万円、同△29.8%)
 - 海外向け検査用カテーテルは会社方針により縮小傾向

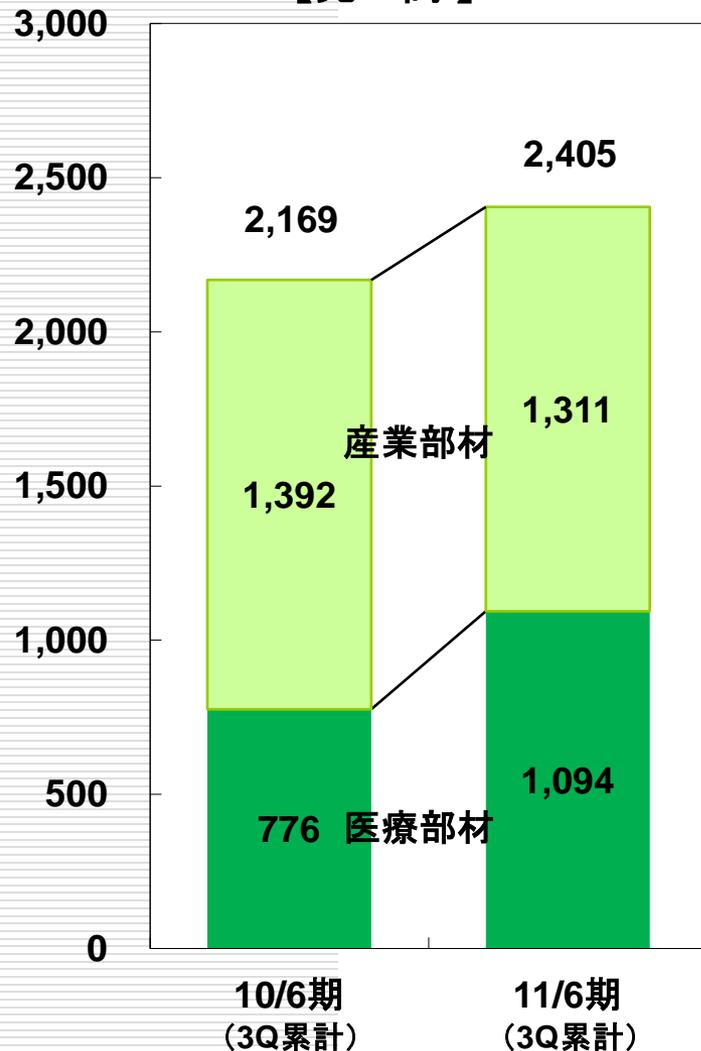
- OEM供給品
 - 1,345百万円(前年同期比+51百万円、同+4.0%)
 - 国内向け製品は増加するものの、海外向け末梢血管系製品が減少
 - ▶ テルモ社向けミニガイドワイヤーの販売開始により好調に推移



デバイス事業の状況

(百万円)

【売上高】



- 医療機器分野を中心に増加傾向
- 産業機器分野は高付加価値製品へのシフト、販売価格見直しに注力
 - 売上高2,405百万円(前年同期比+236百万円、同+10.9%)
 - 営業利益852百万円(調整後同+402百万円、同+89.4%)
 - 円高ドル安の影響(△84百万円)を受けるも好調に推移

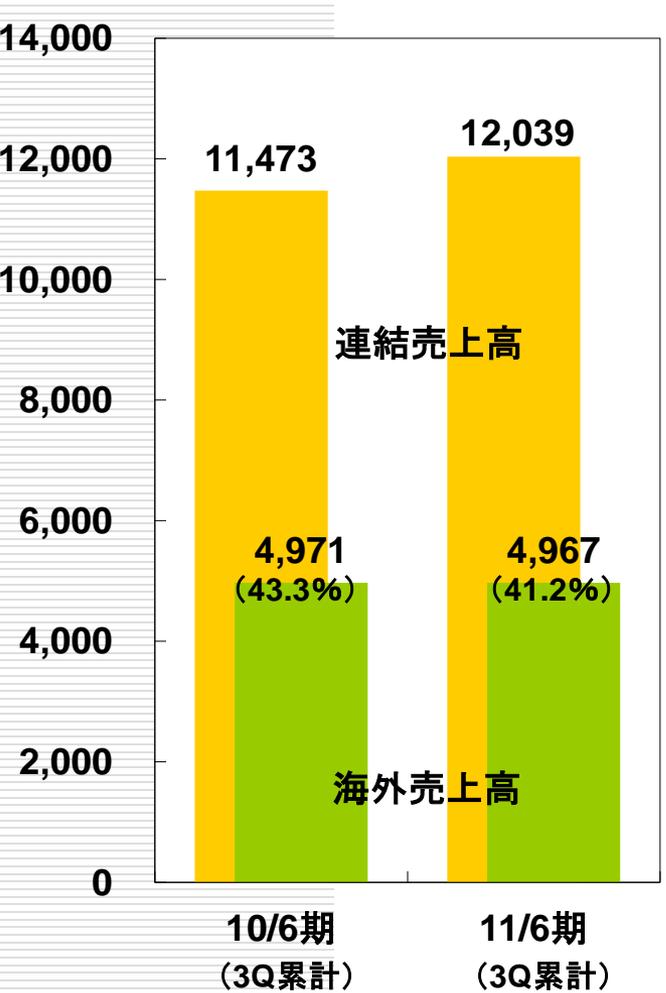
- 産業部材
 - 1,311百万円(前年同期比△81百万円、同△5.9%)
 - 海外向けベビーカー用部材や家電エアコン用ロープ、国内向け環境対応車への部材供給が増加
 - 一方、海外向けOA機器製品、国内向け釣糸が減少

- 医療部材
 - 1,094百万円(前年同期比+317百万円、同+40.9%)
 - 10/1月ジーマ社の連結子会社化による増加 +255百万円
 - 米国向け腹部治療用や耳鼻咽喉科関係医療部材取引が増加



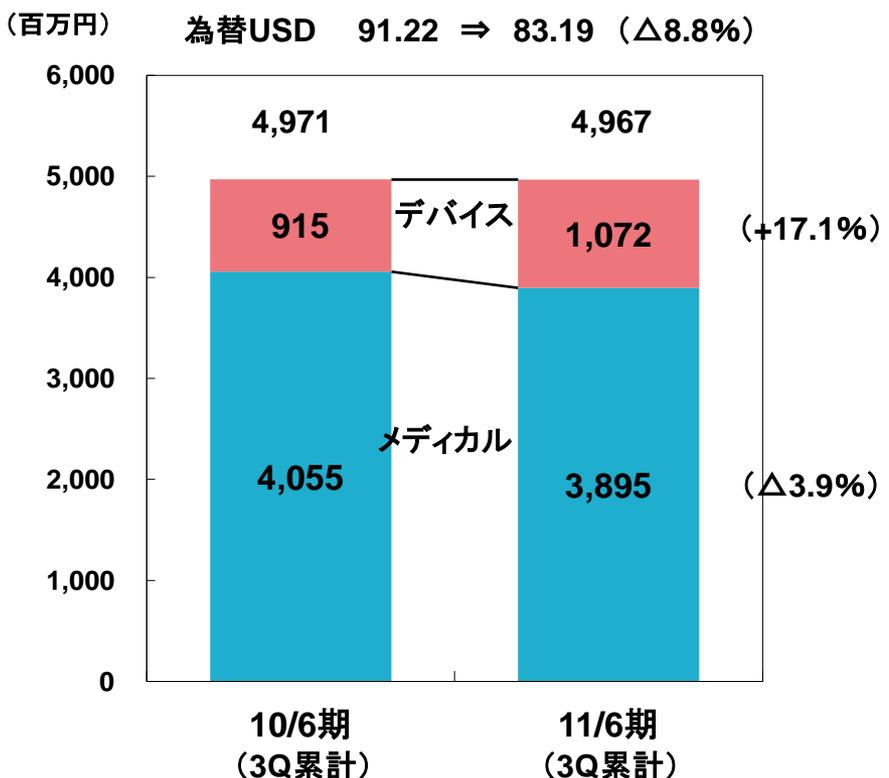
海外売上高の状況

【海外売上高の推移】



- 海外売上高は△3百万円(前年同期比△ 0.1%)
 - ▶ 円高ドル安による売上高減少の影響 △410百万円
 - ▶ 為替影響を除いては順調に推移
 - ▶ メディカル事業では特にアジア向けが好調に推移

【セグメント別海外売上高】





損益の状況(連結)

	2010年6月期 3Q累計実績		2011年6月期 3Q累計実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
売上高	11,473	100.0	12,039	100.0	+565	医療機器分野の増収
売上原価	4,938	43.0	3,929	32.6	△1,008	一部販管費への移動あり 約△525
売上総利益	6,534	57.0	8,109	67.4	+1,574	製品構成の変化、生産性向上など
販管費	3,926	34.2	5,249	43.6	△1,323	研究開発費用の増加 +405 売上原価からの移動 約+525
営業利益	2,607	22.7	2,859	23.8	+251	
営業外収益	66	0.6	83	0.7	+16	作業屑売却益 +15
営業外費用	138	1.2	114	0.9	△24	支払利息の減少 △14 為替差損の減少 △6
経常利益	2,535	22.1	2,828	23.5	292	
特別利益	-	-	2	-	2	貸倒引当金戻入金 +2
特別損失	152	1.3	299	2.5	+146	投資有価証券評価損 +244 前期損益修正損失 △76 資産除去債務会計適用 +30
四半期純利益	1,680	14.7	1,883	15.6	+202	

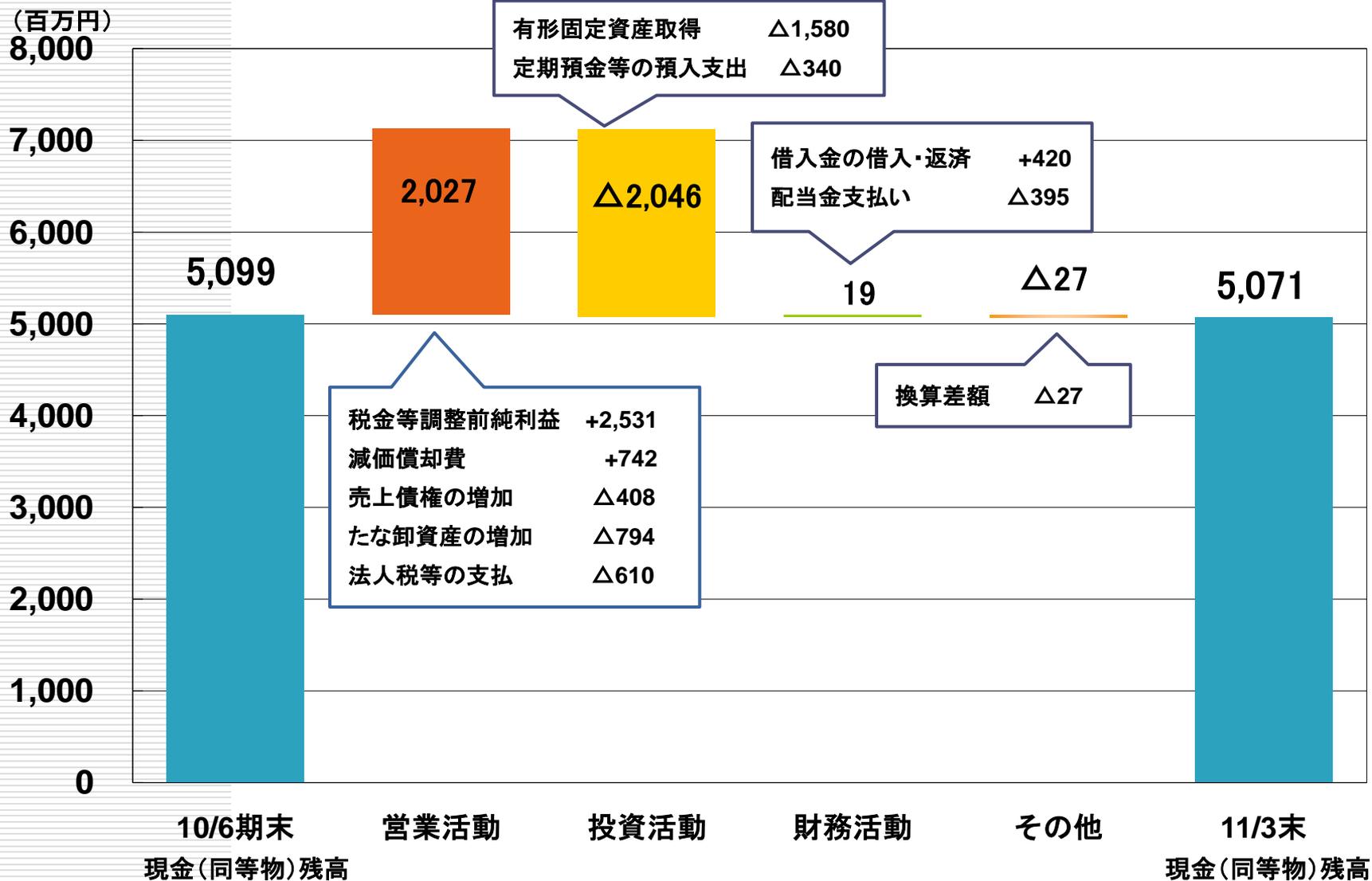


財務の状況(連結)

	2010年6月期 期末実績		2011年6月期 3Q末実績			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	主な増減要因
流動資産	12,253	55.7	13,939	57.2	+1,685	売上債権の増加 +369 有価証券(譲渡性預金)の増加 +850 たな卸資産の増加 +801
固定資産	9,757	44.3	10,434	42.8	+676	瀬戸工場隣地・建物増加 +392 タイ新工場改修 +314
資産合計	22,011	100.0	24,374	100.0	+2,362	
流動負債	5,245	23.8	5,125	21.0	△120	短期借入金の減少 △225 賞与引当金の増加 +154
固定負債	3,511	16.0	4,358	17.9	+846	長期借入金の増加 +587
負債合計	8,757	39.8	9,484	38.9	+726	
純資産合計	13,253	60.2	14,889	61.1	+1,635	利益剰余金の増加 +1,486 その他有価証券評価差額金 (評価損)の減少 +119
負債・純資産合計	22,011	100.0	24,374	100.0	+2,362	



連結キャッシュ・フローの状況





1. 2011年6月期(3Q累計)決算の概要

2. 2011年6月期(通期)業績見通し

ご参考:会社概要・事業の特徴



2011年6月期決算の見通し(連結)の前提

- 2011年6月期(3Q累計)決算は当初予測に比べて好調に推移するものの通期予測は据え置き

<要因>

- 為替や株価市場の動向が不透明
- 四半期毎に受注(売上)が変動する可能性
- 費用の月ズレなどにより費用計上が遅延傾向 等

(なお、以下資料につきましては当初予測を記載しております。)



＜当初予算＞

2011年6月期決算の見通し(連結)

■ 売上高は15,743百万円(前期比+2.6%)を見込む

□ 増収分野:医療機器 減収分野:産業機器

- ▶ 医療機器分野の国内市場は、償還価格下落の影響があるものの、貫通カテーテル「Corsair」の売上増加などに伴う数量増加により増収を確保
- ▶ 医療機器分野の海外市場は、EU及びアジア(中国)を中心とする販売増加により増加の見込み
- ▶ 産業機器分野は経営資源の効率的な配分について再検討、高付加価値製品へのシフト、不採算製品の取引中止など段階的に構造転換を図っており、売上は一時的に減少見込み

■ 先行的な費用発生などにより、営業利益はほぼ横ばいに推移

□ 営業利益は3,001百万円(前期比+2.5%)

- ▶ 将来の成長性を持続し、さらに加速化させるための先行的な費用を複合的に投下
(研究開発費、営業力やマーケティング機能強化のための人員及び諸経費の増加)

□ 経常利益は2,964百万円(前期比+6.4%)

□ 当期純利益は2,052百万円(前期比+37.0%)

為替の前提

10/06(実績) : US\$ 91.24 円 タイパーツ 2.75円

11/06(計画) : US\$ 90.00 円 タイパーツ 2.80円

為替変動による営業利益の影響(試算)

US\$ (+1円の影響) : 約59百万円増加

タイパーツ(+0.1円の影響) : 約60百万円減少



＜当初予算＞

2011年6月期業績見通し(連結)

	2010年6月期(実績)		2011年6月期(計画)			
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	前期比	
					増減額 (百万円)	増減率 (%)
売上高	15,339	100.0	15,743	100.0	+403	+2.6
売上総利益	8,676	56.6	* 10,198	64.8	* +1,522	+17.5
営業利益	2,929	19.1	3,001	19.1	+72	+2.5
経常利益	2,785	18.2	2,964	18.8	+179	+6.4
当期純利益	1,497	9.8	2,052	13.0	+554	+37.0
EPS	94.49円	-	129.47円	-	-	-

* 2011年6月期(計画)の売上総利益は、組織変更に伴う売上原価から販管費への費用区分変更の影響として約800百万円の増加を見込んでおります。ただしその後、その影響額は約700百万円となる可能性が生じており、売上総利益10,098百万円となる可能性がございます。

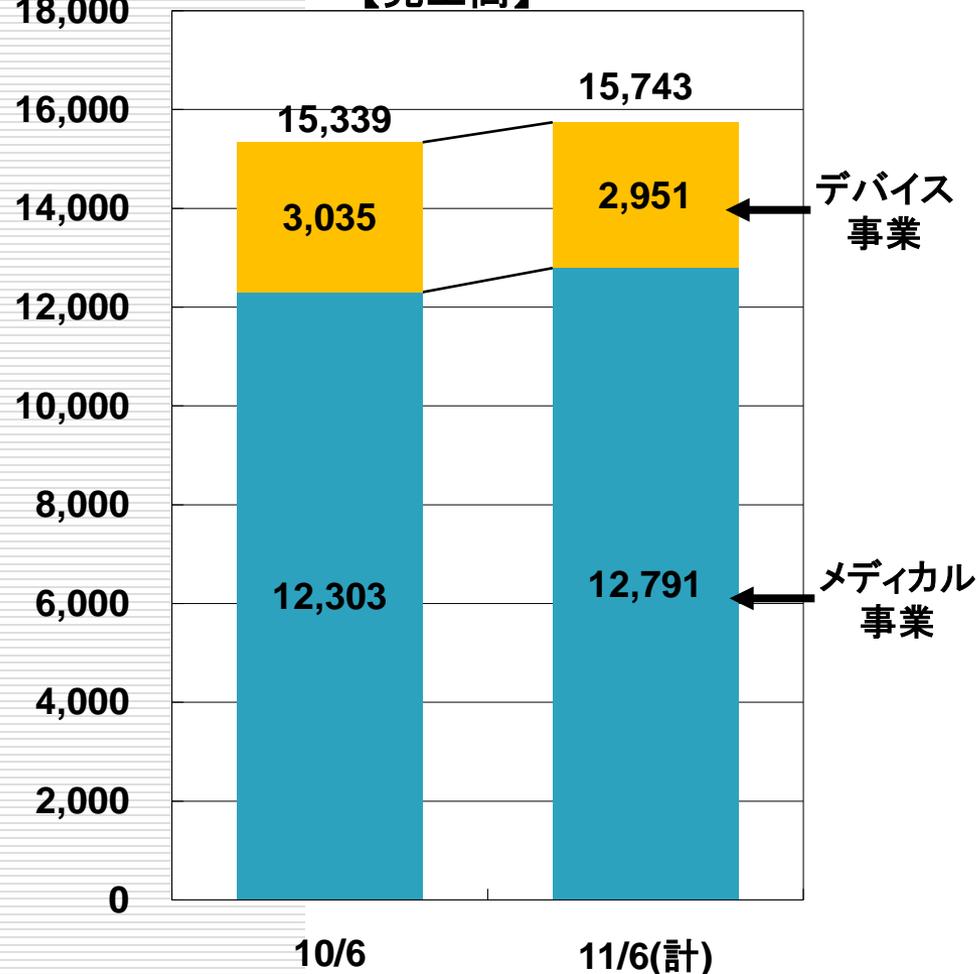


<当初予算>

セグメント別の収益見通し(一部調整後)

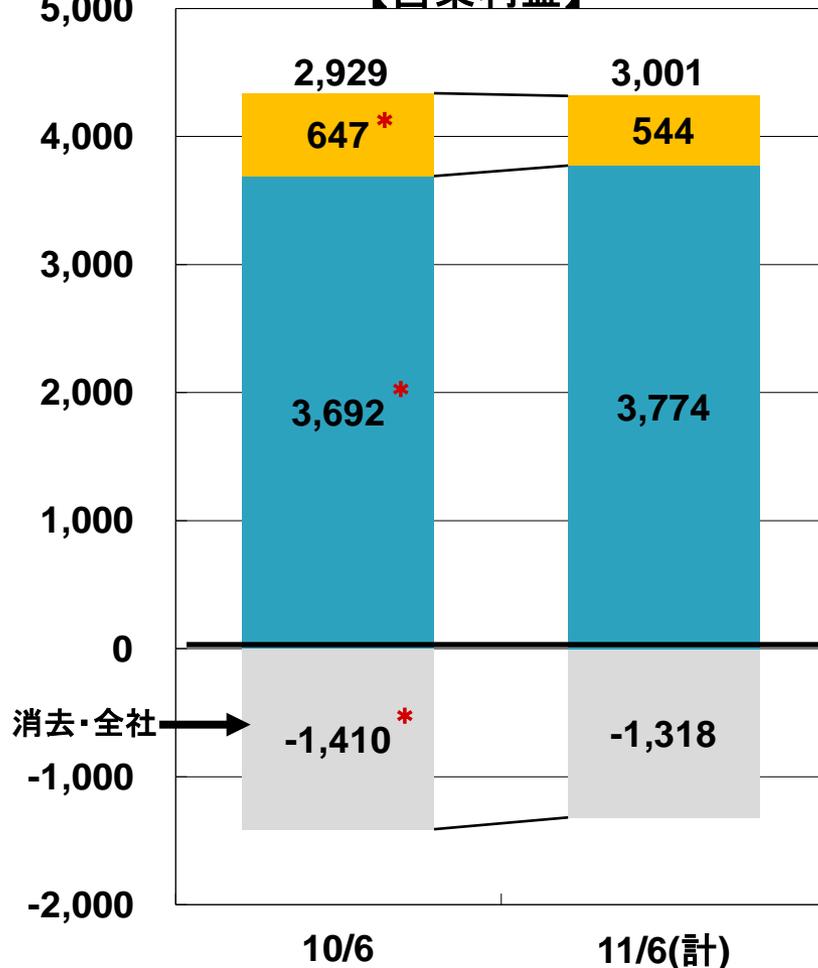
(百万円)
18,000

【売上高】



(百万円)
5,000

【営業利益】

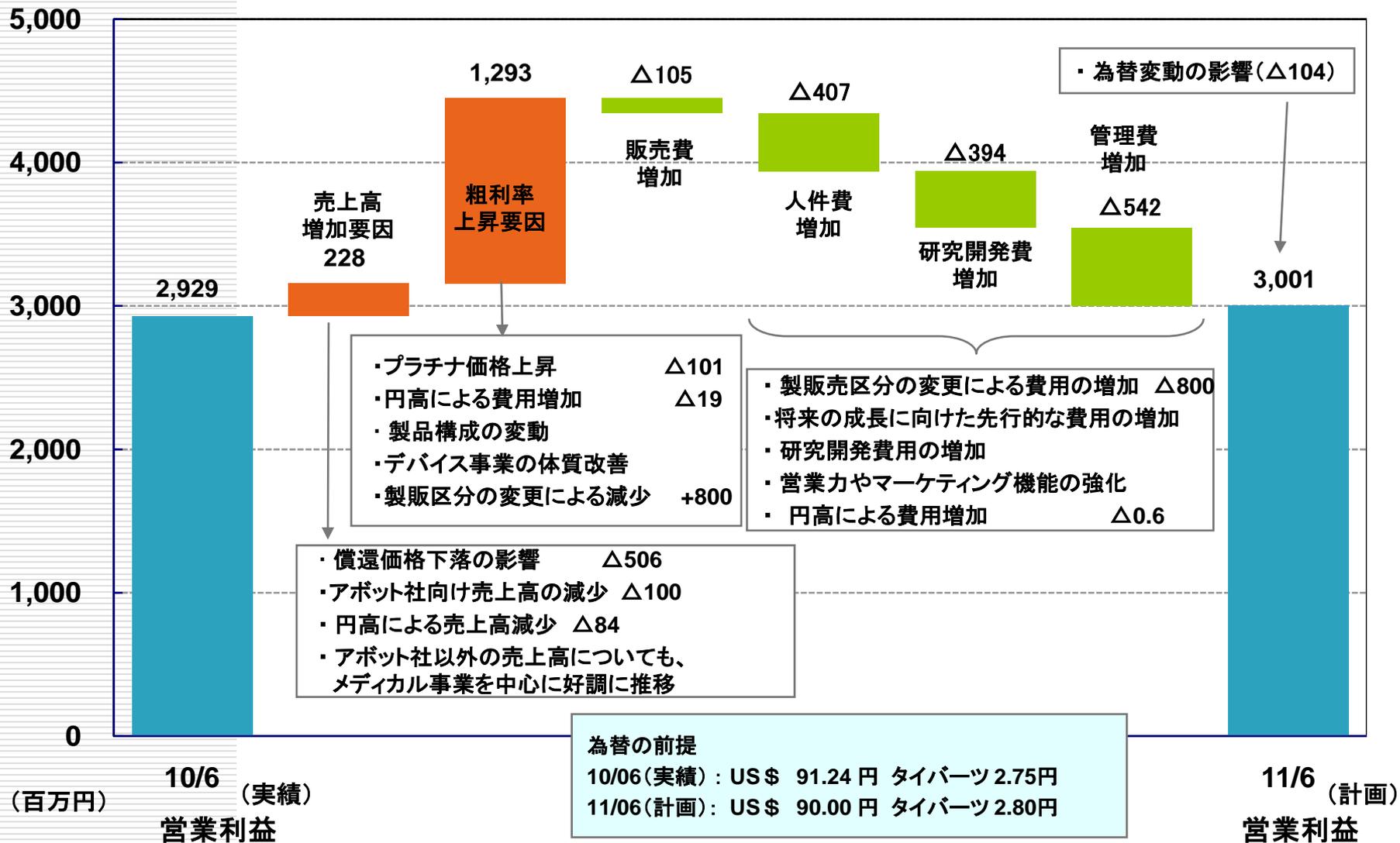


* 全社的な研究開発を担う基盤技術グループの費用について、10/6期までは全社勘定に計上されておりましたが、11/6期から各セグメント区分に変更しており、よって10/6期実績について11/6期基準に調整変更を行っております。



<当初予算>

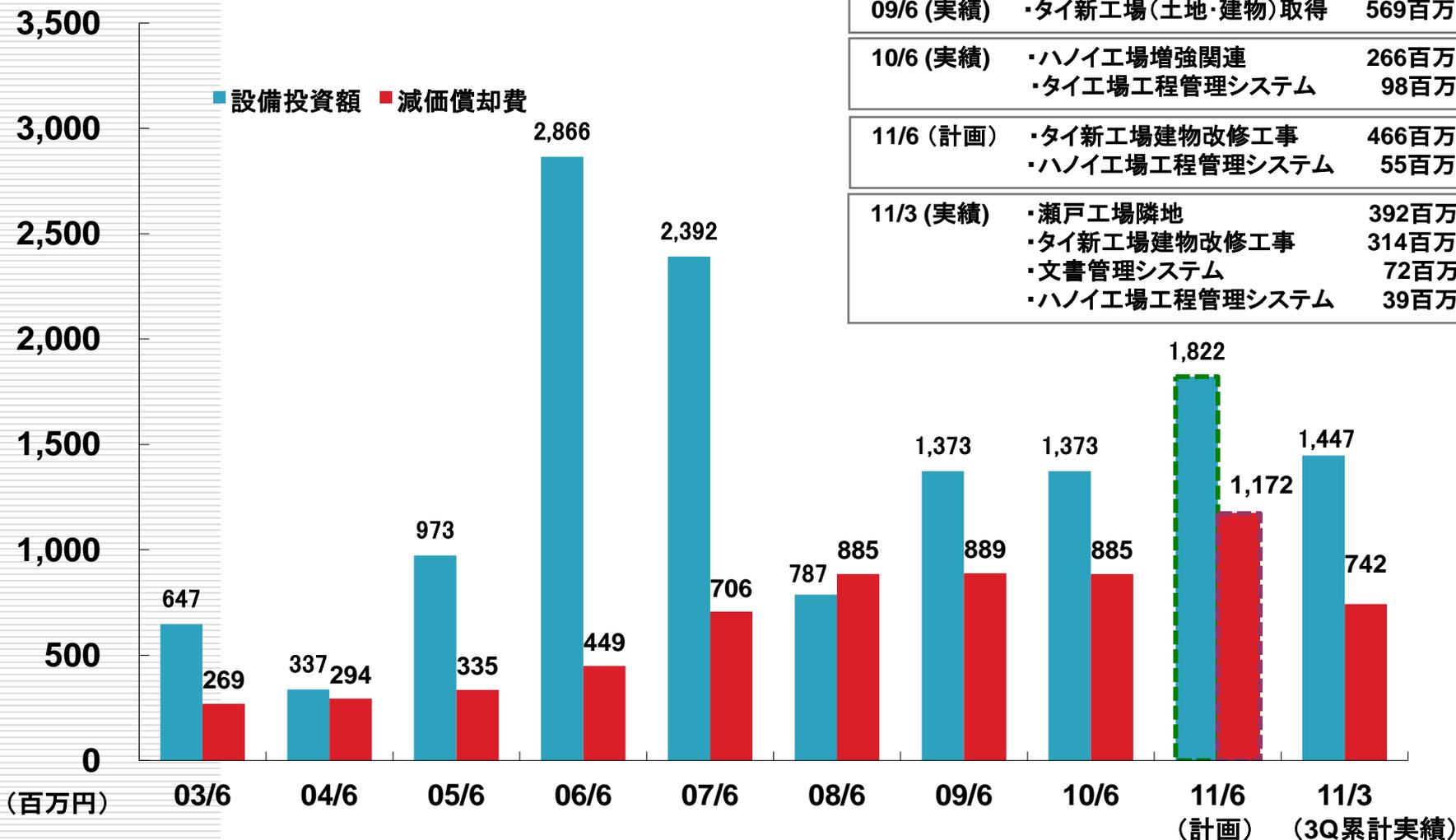
11/6期計画の営業利益増減要因分析





設備投資の実績及び計画

10/6期に計画していたタイ新工場建物改修工事等は11/6期に実施



09/6 (実績)	・タイ新工場(土地・建物)取得	569百万円
10/6 (実績)	・ハノイ工場増強関連	266百万円
	・タイ工場工程管理システム	98百万円
11/6 (計画)	・タイ新工場建物改修工事	466百万円
	・ハノイ工場工程管理システム	55百万円
11/3 (実績)	・瀬戸工場隣地	392百万円
	・タイ新工場建物改修工事	314百万円
	・文書管理システム	72百万円
	・ハノイ工場工程管理システム	39百万円



1. 2011年6月期(3Q累計)決算の概要

2. 2011年6月期(通期)業績見通し

ご参考:会社概要・事業の特徴



会社概要

社名	朝日インテック株式会社
本社	名古屋市 守山区 脇田町 1703番地
代表者	代表取締役会長 宮田 尚彦 代表取締役社長 宮田 昌彦
設立	1976年7月8日 (現在 第35期目)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 医療機器の開発・製造・販売 極細ステンレスワイヤロープ並びに 端末加工品等の開発・製造・販売
資本金	4,167百万円 (2011年3月末)
連結子会社	ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD. (100%) ASAHI INTECC HANOI CO., LTD. (100%) ASAHI INTECC USA, INC. (100%) 朝日インテックJセールス(株) (100%) フィルメック(株) (100%) 朝日インテックジーマ(株) (95.8%)
従業員数	374名(単体)、2,888名(連結) (2011年3月末)



開発・生産・販売拠点 (日本と海外の住み分け)

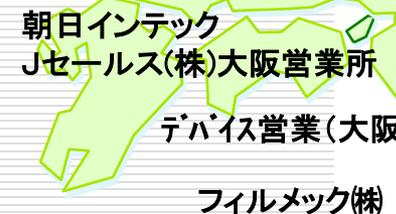
- = 工場及び研究開発拠点
- = 支店・営業所等
- = 子会社



タイ: ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.



大阪R&Dセンター



朝日インテック
Jセールス(株)大阪営業所

デバイス営業(大阪)

フィルメック(株)

本社

瀬戸工場・
デバイス営業(瀬戸)

デバイス営業(東京)

朝日インテック
ジーマ(株)
(2010年1月
取得)

朝日インテックJセールス(株)本社

EU支店
(アムステルダム)

シンガポール支店

北京駐在所
(2009年7月開設)

ベトナム: ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.
(2007年1月稼働開始)

米国: ASAHI INTECC USA, INC.

中国: 香港支店

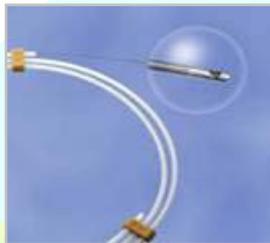
日本: 研究開発・試作

海外: 生産拠点

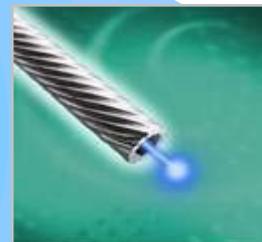


当社の事業分野・事業セグメント

メディカル事業
(自社ブランド製品・OEM供給品)



医療機器分野



産業機器分野



デバイス事業
(医療部材・産業部材)



メディカル事業の主要製品群

【治療用カテーテルシステム】

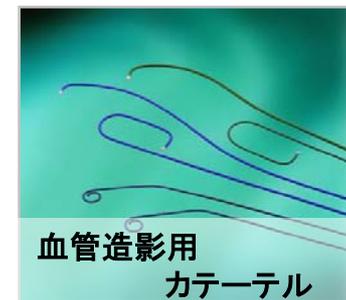
□ 循環器系

- **PTCAガイドワイヤー**
- PTCAガイディングカテーテル
- PTCAバルーンカテーテル
- 貫通カテーテル



□ 末梢血管系・腹部血管系・脳血管系

- ペリフェラルガイドワイヤー
- IVRガイドワイヤー
- 脳血管系ガイドワイヤー



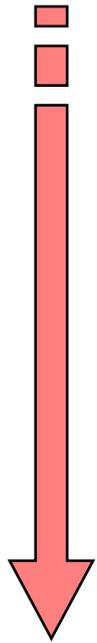
【検査用カテーテルシステム】

- 血管造影用ガイドワイヤー
- 血管造影用カテーテル



【OEM供給品】

- スネア(内視鏡関連製品)
- 主に循環器系以外のカテーテル関連製品



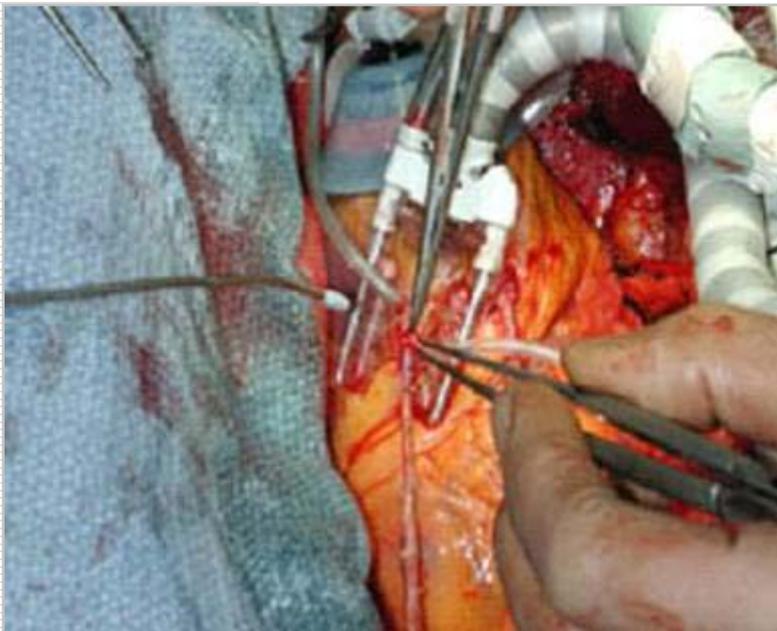


低侵襲治療 (PTCA治療) とは

- 患者の精神的・肉体的負担を最小限に抑える為に、開腹・開胸する事無く、太腿や手首の血管を通じて治療を行う。

＜外科的治療＞

バイパス手術



＜内科的治療＞

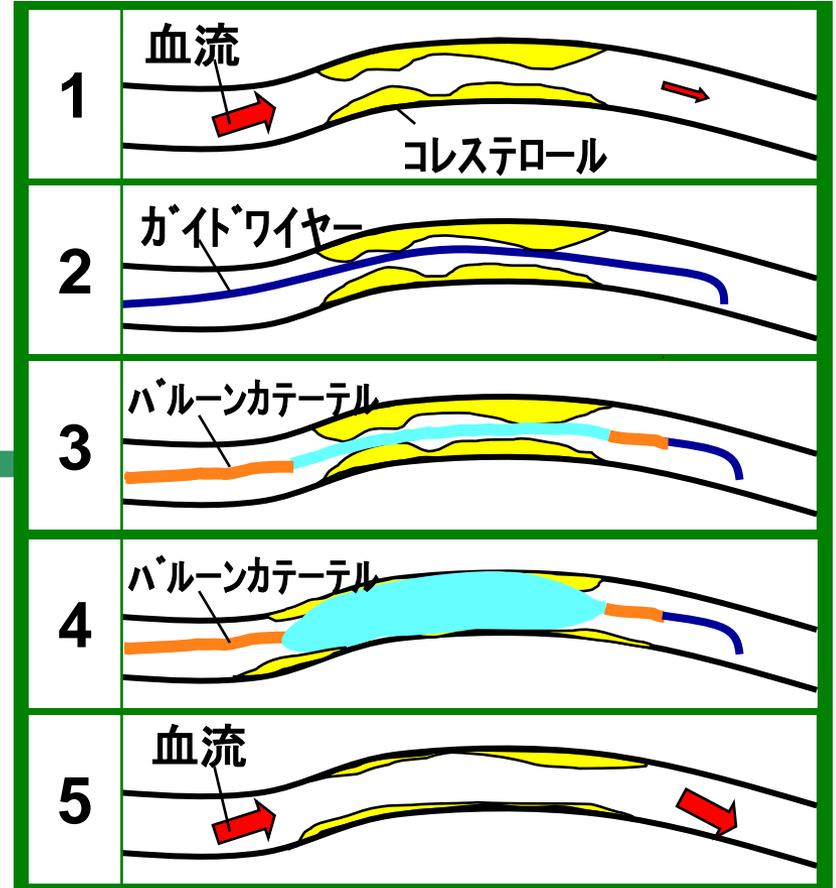
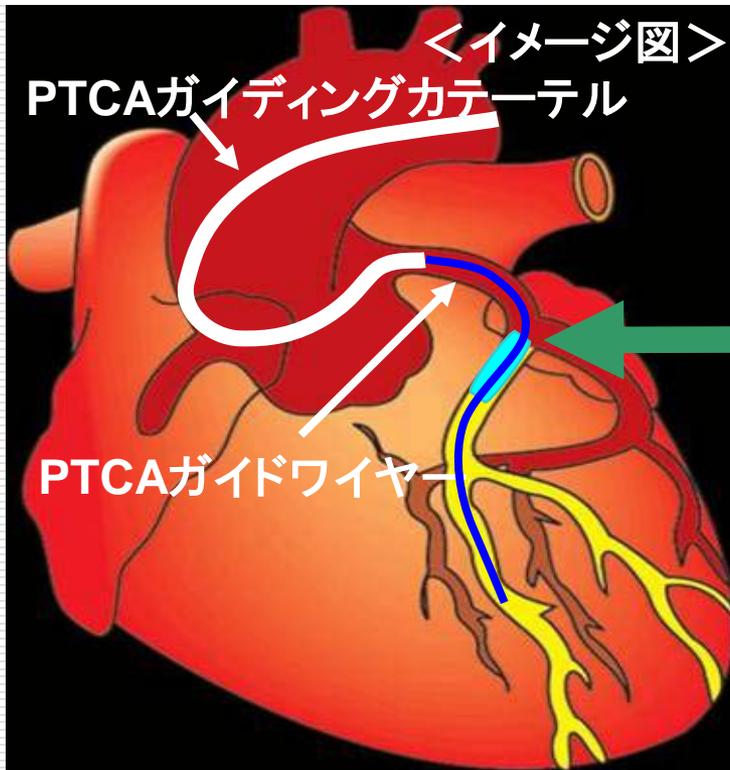
低侵襲治療 (PTCA治療)





PTCA (経皮的冠動脈形成術) とは - 1

冠動脈疾患 (狭心症・心筋梗塞等) の治療法
狭窄部を広げて血流を確保



PTCA治療を成功させるためには、PTCAガイドワイヤーが患部に到達しなければならない

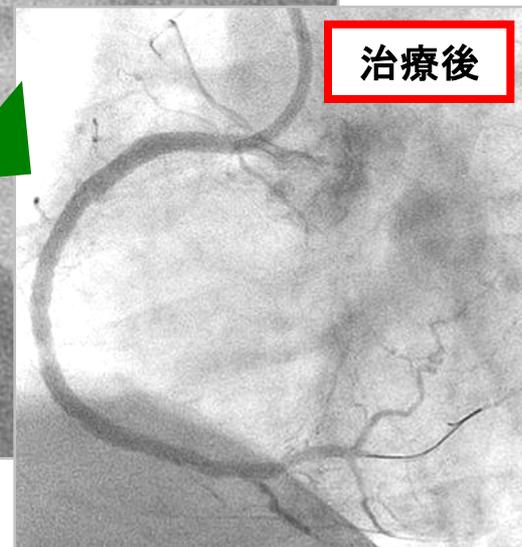
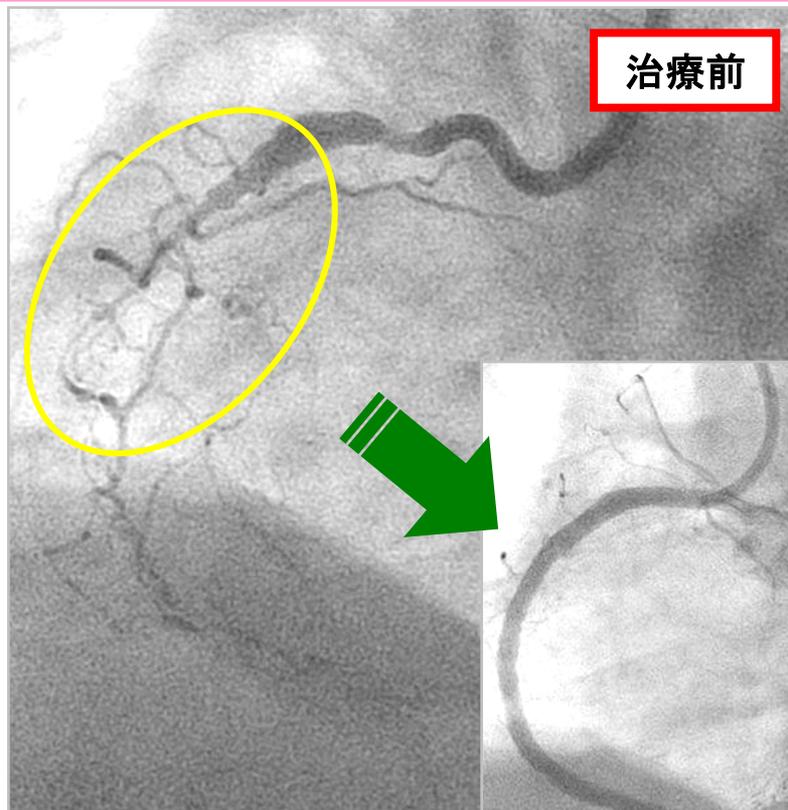


PTCA (経皮的冠動脈形成術) とは - 2

比較的簡単な病変



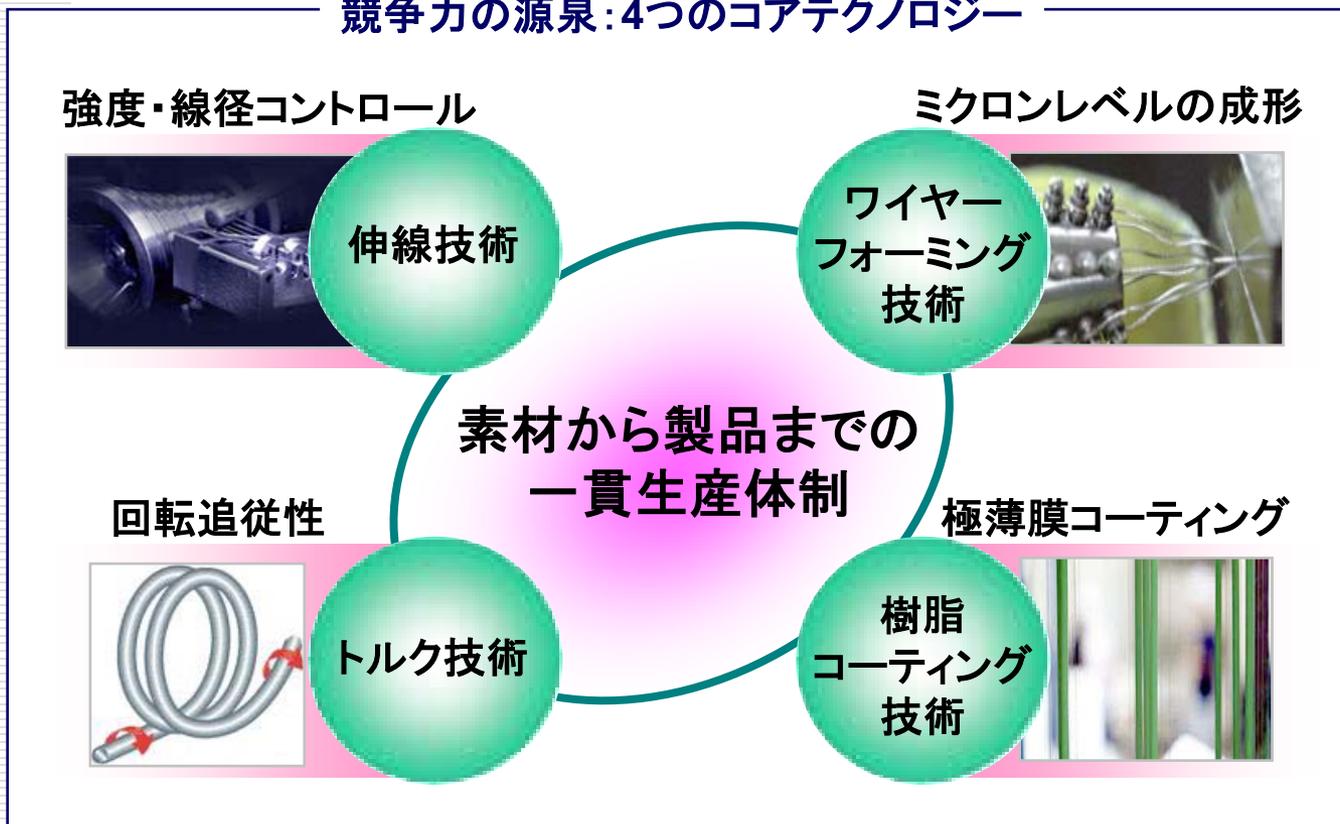
難易度の高い病変





当社PTCAガイドワイヤーの優位性 -1

競争力の源泉:4つのコアテクノロジー



優れた回転追従性(トルク性) + 先端の柔軟性(安全な操作)



ドクターの「指先の微妙な動き」を「先端に忠実に伝える」ことが可能



当社PTCAガイドワイヤーの優位性 -2

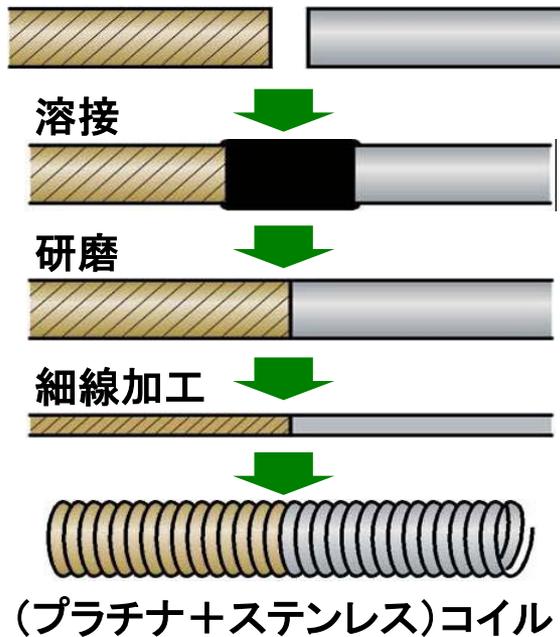
独自開発の
ジョイントレス技術
(特許: 第2981976号)

優れた回転追従性
(トルク性)

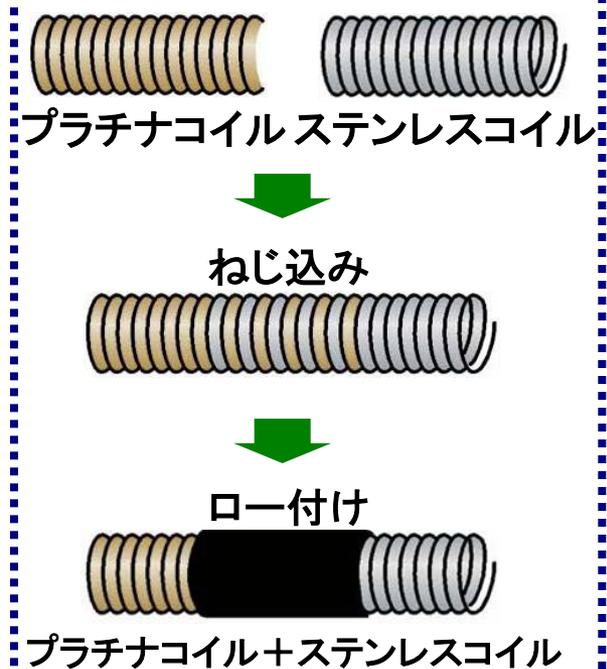
+

先端の柔軟性
(安全な操作)

当社のコイリング



他社のコイリング



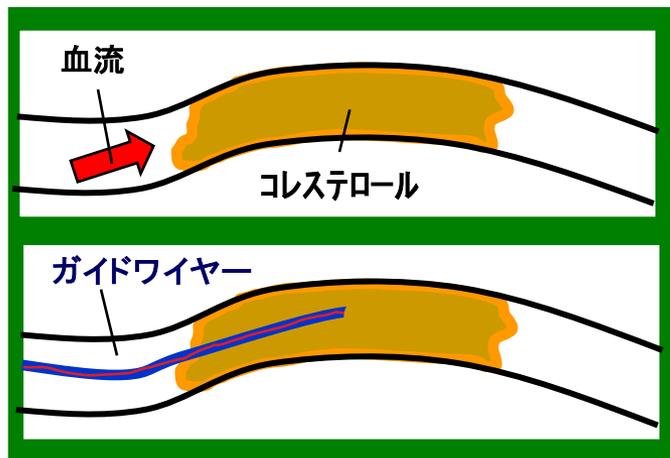
ドクターの「指先の微妙な動き」を「先端に忠実に伝える」ことが可能



CTO領域におけるPTCA治療の実現

CTOとは
(慢性完全閉塞)

石灰化した硬い病変
完全に血管が詰まった状態



【心臓疾患レベル】

健常人 → リスク保持者

生活習慣病

潜在患者

心臓血管閉塞

CTO
(慢性完全閉塞)

従来は外科手術の領域

CTOにも使用可能なPTCAガイドワイヤーを開発

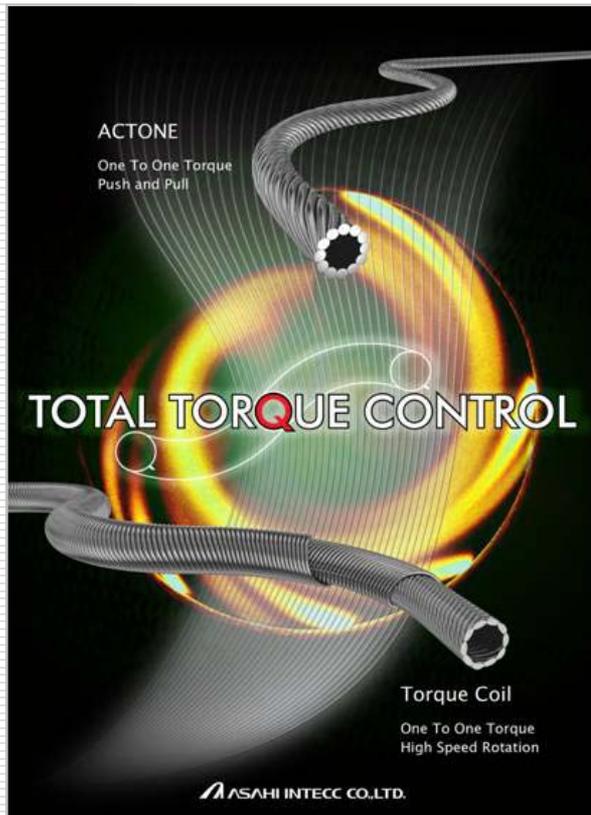


PTCA手法によるCTO治療を飛躍的に拡大



デバイス事業(医療部材)の主要製品群

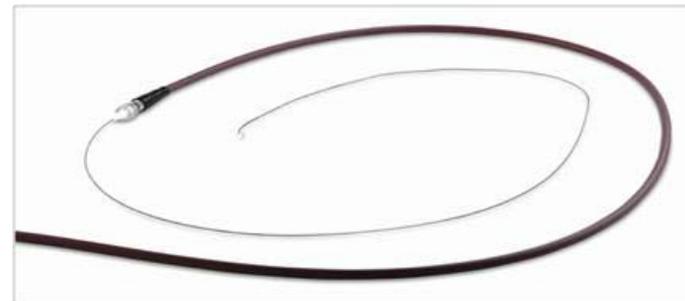
中空構造のケーブルチューブ、ステンレスロープ等の医療部材を提供



ACTONE



ワイヤーロープ・チューブ(使用例: 内視鏡処置具の部材)



耳鼻咽喉科用カテーテル デリバリーシステム(蓄膿症治療)



デバイス事業(産業機器)の主要製品群

極細ステンレスワイヤーロープ (ロープ径2mm以下)の製造・販売

使用される市場

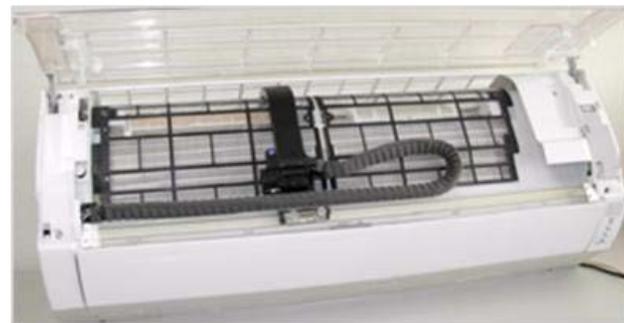
- ロープ……自動車関連、建築関連、漁業関連
- 端末加工品……OA機器関連、ベビーカー、機械アクセサリ、遊技機
- チャージワイヤー……OA機器関連、空気清浄機



グローブライド株式会社様(旧 ダイワ精工様)
グレメタル



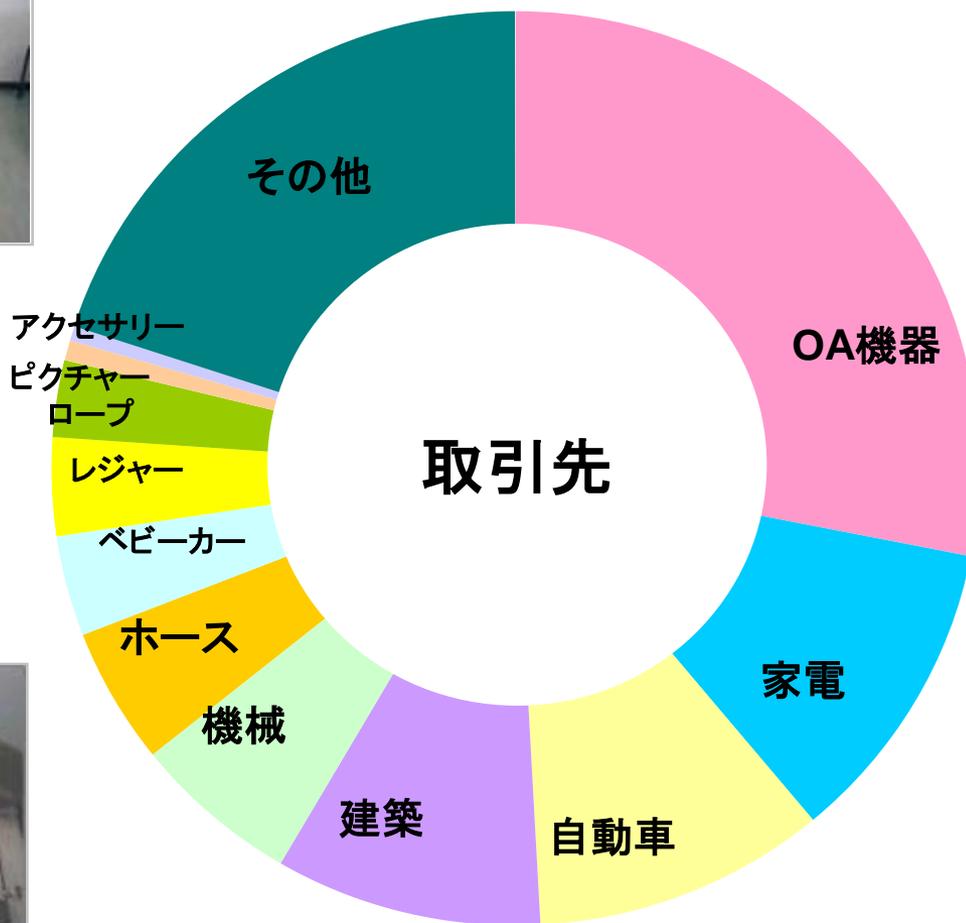
TOTO株式会社様
ウォシュレット



パナソニック株式会社様
フィルター掃除機能付エアコン



最先端機器から家庭用品まで幅広い用途



(2011年3月末現在)



医療機器の競争力＝素材を扱う高度な技術

産業機器分野で培われる 「高度な素材加工技術」



Assembly

組付け加工
滅菌処理

部材購入

他社

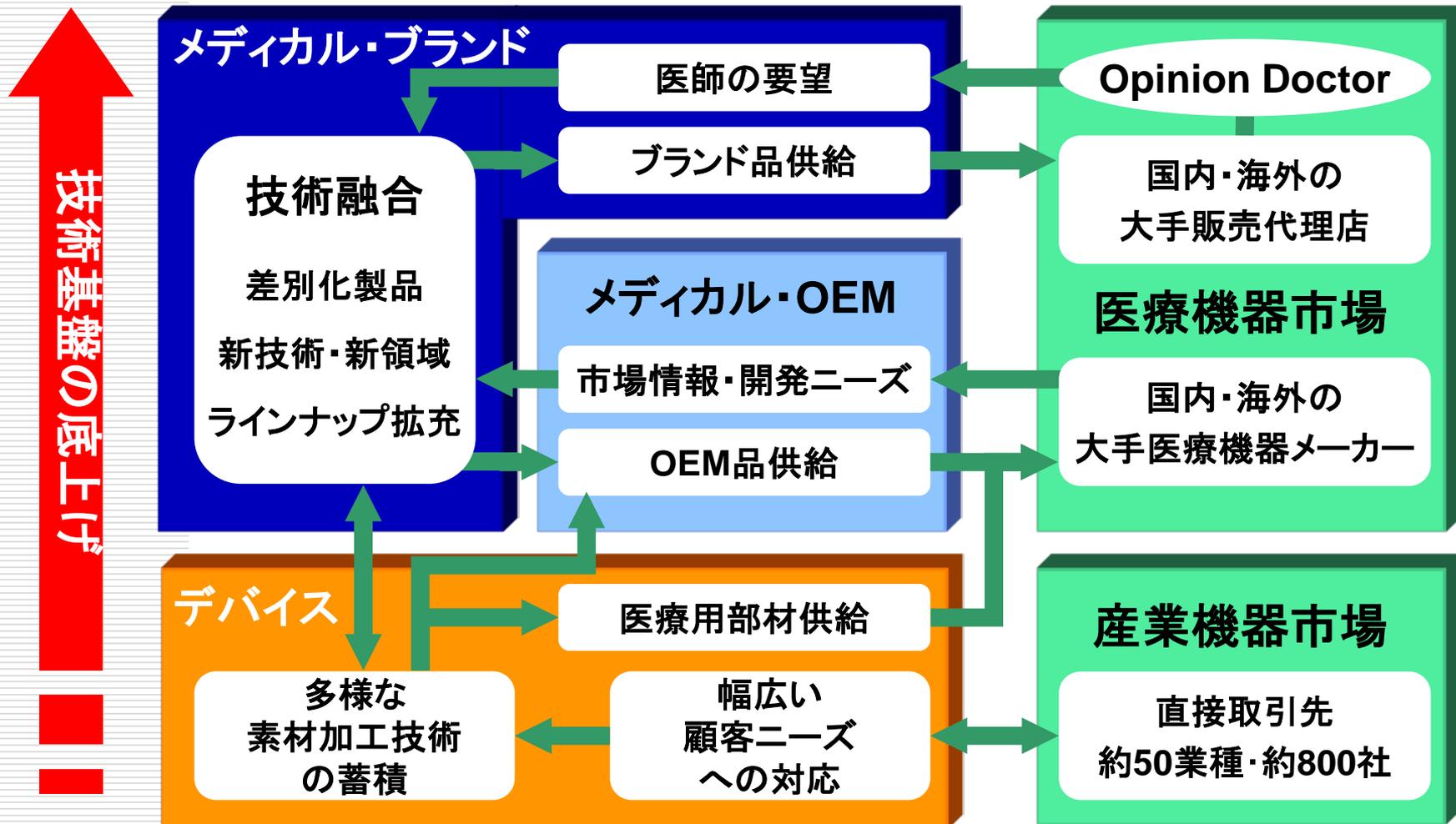
母材調達

当社

医療機器分野でのユーザーニーズ対応力



事業構造のメリット(融合・複合・循環)





製品用語解説(メディカル事業)

製品名	製品概要
PTCAガイドワイヤー	PTCA治療の際に、バルーンカテーテル等の治療デバイスを、病変部まで先導(ガイド)するワイヤー
PTCAガイドイングカテーテル	PTCA治療の際に、ガイドワイヤーやバルーンカテーテル等の治療デバイスを冠動脈の入り口まで先導する中空チューブ
PTCAバルーンカテーテル	PTCA治療の際に、病変部の血管通路を拡張するためのバルーン(直径1~5mm程度の風船)を先端に装着したカテーテル
貫通カテーテル	PTCA治療の際に、バルーンカテーテル等の治療デバイスが通過しないような完全慢性閉塞病変部を貫通する為のカテーテル
ペリフェラルガイドワイヤー	末梢血管治療の際に、バルーンカテーテル等の治療デバイスを病変部まで先導(ガイド)するワイヤー
IVRガイドワイヤー	腹部等の治療の際に、バルーンカテーテル・マイクロカテーテル等の治療デバイスを病変部まで先導(ガイド)するワイヤー
脳用ガイドワイヤー	脳動脈瘤の治療の際に、マイクロカテーテル等の治療デバイスを病変部まで先導(ガイド)するワイヤー
マイクロカテーテル	病変部に「拡張」「閉塞」「生検」「薬剤注入」などの処置を施す目的で使用する中空チューブ
治療用カテーテルシステム	
血管造影用カテーテル	PTCA治療の前に、病変部を確認する造影剤を注入するチューブ
血管造影用ガイドワイヤー	血管造影用カテーテルを先導するためのワイヤー
検査用カテーテルシステム	
スネア	高周波ポリープ切除用内視鏡処置具
循環器系以外のガイドワイヤー・カテーテルなど	
OEM供給品	



製品用語解説(デバイス事業)

製品名	製品概要
線材	内視鏡本体チューブ用ブレード材料
ロープ	内視鏡本体操作ワイヤー、内視鏡処置具操作ワイヤー
コイル	内視鏡本体操作ワイヤーガイドコイル、内視鏡処置具ガイドコイル
ACTONE	中空構造のケーブルチューブ
医療部材	
線材	耐圧ホース用補強材、電線用補強材、液晶フィルム製造治具用
ロープ	鮎つり用ハイテンション極細ロープ、自動車用アクセルロープ、漁業用資材ロープ、建築用(排煙用)ロープ
コイル	基盤検査用プローブ、洗面用排水栓インナーコイル
外注加工品	建築(排煙)用アウター、シャッター用ダイカスト製品、遊技機用樹脂成形品 ロープテンショナー、バーコードリーダー用セラミックローラー、精密ノズル(切削品) 複写機用グリッド(エッチング品)
端末加工品	複写機・スキャナー光学等駆動用、建築用(シャッター用・ピクチャーレールハンガー用等)、落下防止用、ベビーカー用、自動車用トランクオープナー
CW(チャージワイヤー)	複写機・プリンター・ファクシミリ帯電用、空気清浄機集塵用
産業部材	



本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。
実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 052-768-1218 (Direct)

URL <http://www.asahi-intecc.co.jp/>